

保健事業報告

令和5年度の保健事業は、病気の未然防止を目的とした疾病予防を中心に、健康保持のための特定健康診査・特定保健指導と人間ドック、各種がん健診等や昨年度から開始した「禁煙プログラム」に加えて、巡回型の「家族（主婦）健診」を実施し、被扶養配偶者の健康診断等の受診率向上・疾病予防に取り組みました。

また新規保健事業では、脳疾患の予兆を早期に発見するため「スマート脳ドック・脳ドック補助」を実施いたしました。

主な事業と利用者数は、以下のとおりです。

特定健康診査等

40～74歳の被保険者と被扶養者を対象に、腹囲測定や生活習慣の質問票を追加した健診「**特定健診**」を実施し、**メタボリックシンドローム**の診断基準となる内臓脂肪の蓄積や血糖、血中脂質、血圧などのリスクがある人を抽出します。

健診の結果から、保健指導の対象者を「情報提供」「動機づけ支援」「積極的支援」の3つのレベルに分け、それぞれの状況に応じた保健指導を実施し、生活習慣病の予防・改善をフォローします。

※被保険者（本人）については、原則事業主が行う定期健康診断のうち特定健康診査に該当する項目の情報提供を受けています。

対象者

受診者

- | | | |
|------------------------------|--------|-----------|
| ① 特定健康診査・・・40歳～74歳の被保険者・被扶養者 | 1,097名 | （前年比22名増） |
| ② 特定保健指導・・・※基準該当者 | 56名 | （前年比17名増） |

※基準については、こちら → <http://www.kenporen.com/health-insurance/tokutei/>
（なお、基準該当者のうち、昨年度受診者及び医療機関要受診者の方は、含めておりません。）

保健のPR

- ① ホームページ・・・保険給付や保健事業の最新情報を提供するとともに、各種申請書の配信。
- ② 「被扶養者健診ガイドブック」・・・各種健診のご案内。健診受診の啓蒙を図るため自宅へ送付。
- ③ 医療費等の通知・・・「医療費のお知らせ」「保険給付費の支給決定通知書」をwebにより通知。

また、年1回「医療費のお知らせ」と確定申告用（e-Tax用）の医療費控除用データを通知。

疾病の予防

対象者

受診者（利用者）

人間ドック・・・35歳以上の被保険者・被扶養配偶者	586名（前年比34名増）
家族（主婦）健診「巡回型健診」・・・被扶養配偶者	196名（前年比 5名減）
胃部エックス線検査・・・・・・ 35歳以上の被保険者	70名（前年比 1名減）
子宮がん検診・・・ 20歳以上の被保険者・被扶養配偶者	16名（前年比 3名増）
大腸がん検診・・・ 40歳以上の被保険者・被扶養配偶者	29名（前年比 5名増）
インフルエンザ予防接種・・・世帯（被保険者・被扶養者）	247世帯（前年比 5世帯減）
禁煙プログラム・・・喫煙する被保険者のうち希望する者	5名（前年比 ±0）
スマート脳ドック・脳ドック補助 ・・・・40歳以上の被保険者・皮膚用配偶者	143名（本年度新規事業）

以上